

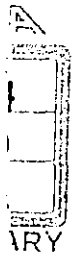
D-73-管調資-No. 35

# 各国事情のしおり

チリ一編

1973・9

海外技術協力事業団



國際協力事業團		
輸入 月日	87. 4. 22	704
登録 No.	08484	20
		EX

## は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として同国に派遣されている地質学専門家・西村藪氏からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣食住、気候、教育、公共施設、対日感情、治安等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任する専門家の何らかの参考になれば幸である。

JICA LIBRARY

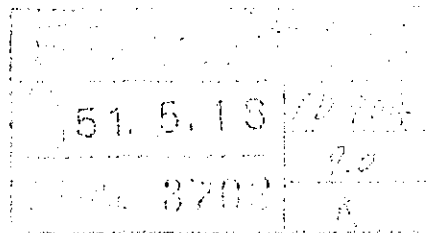
昭和48年9月



1025883[8]

海外技術協力事業団

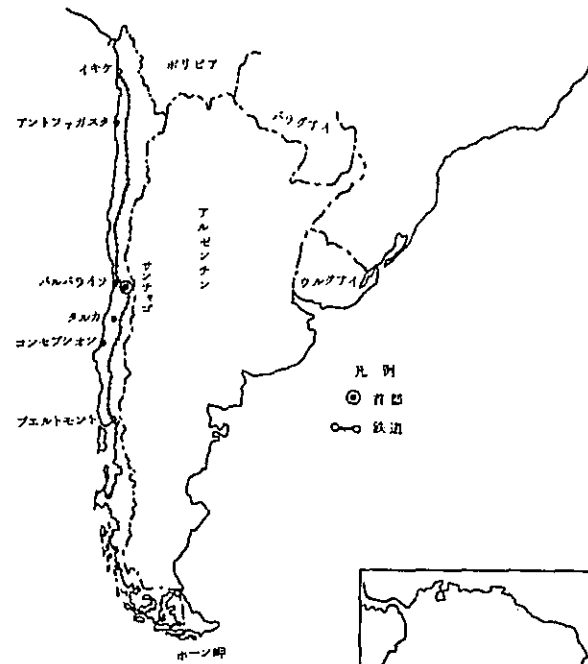
理事長 田 付 景 一



## 目 次

I 任国事情	1
1. 住宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器・備品）	1
2. 食品（食料事情、価格、外食、携行すべき調味料）	6
3. 衣類、日用品（衣料事情、日用品）	14
4. 使用人	16
5. 医療（医療事情、医薬品、疾病の種類）	17
6. 子弟の教育機関（教育制度、教育制度、教育機関、授業料、通学方法）	20
7. 娯楽設備（保養地等、通常の余暇の過ごし方、日本人クラブ）	23
8. 電 力	24
9. 交通（交通事情、タクシー、ハイヤー、レンタカー自動車購入、運転免許、ガソリン代）	24
10. 為替（相場、滞在費等の受取方法）	33
11. 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザの更新手続）	35
12. 便宜供与（種類、カウンター・パート、通訳、免税特権）	37
13. 通信・運輸（郵便事情、運送）	39
14. 言語（公用語、第一外国語の普及度、現地語学習の必要性、語学学習の施設）	42
15. 気 候	44
16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時の連絡方法）	44
17. その他（対日感情、現地人気質、新聞、雑誌、風俗、習慣、理髪、美容、クリーニング、買物、今後赴任される専門家への要望事項）	45
II 同国に対する我国の技術協力実績	52
III 大使館等連絡先	53

# チリ - 共和国略図



- ☆面積 7.4万2,000km<sup>2</sup>。
- ☆人口 956万6,000人(1972年)。
- ☆首都 サンチャゴ (Santiago) 人口255万人。
- ☆通貨単位 1米ドル=125 Escudo (エスクード)。
- ☆宗教 カトリック。
- ☆教育 義務教育は初級学校6年間のみ。
- ☆公用語 スペイン語。
- ☆住民 スペイン系75%、その他のヨーロッパ系20%、原住民5%。
- ☆参考 鉱産物輸出で特に銅の輸出は同国経済を左右している。近年鉄鉱石の開発が進み、銅に次ぐ第二の外貨獲得源となっている。同国は従来インフレに悩んできたが産銅、農産物増産、物価、金融対策等でインフレ抑制政策をとっている。



## I 任 国 事 情

一般事情として、ここ2～3年来、政治・経済情勢をはじめ、全てが流動的・不安定であります。インフレ、物資不足、ヤミ市場の一般化等々で、今日の様子を書いても明日には突然に又、別のものとなります。公定価格すら一夜明けた次の日には2倍から10倍位まで変動することは度々です。ヤミの例をあげますと、フィアット125Sの新車(国産)は現公定価格で900,000エスクードですが、ヤミでは2,500,000エスクード位、ニワトリ一羽公定が35エスクードのところ、ヤミで250～500エスクードです。

物価の面では変動が大きいですが本文での値段は全て5月末現在としておきます。恐らくチリ人誰一人としてヤミの洗礼を受けていないものはないでしょう。

以下、これを念頭において読んでいただきます。

### 1. 住 宅

#### (1) 住宅事情

一般事情：極度に悪いのが住宅事情です。わけても借家となると、割合に歓迎されている外人ですら、一生懸命探がし歩いて、最低2～3ヶ月後に見つかるのが普通です。借家人を2年間持つと半永久的に当人へ借すことになり、5年間借すと当人へ売り渡すことが、現政権下で法的に義務づけられているため、一般には借したがらず、チリ人にはなおのこと借したがらない。したがってチリ人で結婚しても家の見つからないペアーは多数あります。Amigoを通じれば大ていことは解決する国柄でありながらも、この様な状態ですから、当然、外人に

もシワよせが来ています。以前は新聞広告で大い事足りていましたが、今日では新聞に出る貸家の提供件数は5～6軒、一方売家は連日2～300件あります。

したがって、借家の新聞広告を見て朝6時頃家主のところへ馳せつけても、すでに、2～30人から5～60人の行列が出来ています。クギすら入手するのが大変な昨今のこと、新築される家も非常に少なく、早急に解決される見通しもない。この様な状況下ですから、もし、事情が許るせば、先ず一軒購入して一時しのぎをすることも考えられましょうが、帰国前に売り払うのがこれ又大変です。売れたとしてもドル払にしてくれる人は輪をかけて少なくなります。

ちなみに、家の一般購入価格は政府査定価格の20倍位です。ドル払いは不法ですが、大歓迎されていて中程度の家が5,000ドルから10,000ドル位で売りに出されてはいます。しかし結局はヤミ値になりますが、エージェントを介して借家を得なければならないと云うことに落ち着きましょう。

#### ① エージェントの有無

中心街で看板を出してるのは、流動的ですが、30軒以上はあります。これにもぐりを入れると300軒ではきかないでしょう。公認・ヤミどちらのエージェントにしろ、ヤミの高値を求めて暗躍してはいるものの、どっちも契約の安全性に関するかぎり、安全です。

#### ② 入手の難易度

勤務先及び友人を通じて見つからなかった場合は

「借家求む、当方日本人専門家」と云った様な新聞広告を4～5回出すと上記の様なエージェントが外国人とみてたくさんやって来て割合と見付き易い。チリには電話が不足していますから、一層難かしくはなりますが、「電話つきの家」と指定した方がのちのち便利です。

③ 賃借方法（月払・年払等）

弁護士を仲に入れての契約が理想的ですが、普通一般には当人と家主との間の契約書で充分です。契約期間は1ヶ月でも1年でも10年でも差し支えなしです。大変なインフレ下にありますから家賃の方は当初契約の通りには行かず、半年位ごとに改正してやる方が家主との関係がスムーズに行きます。

契約した場合、1ヶ月分を保証金として前払いするため、最初の月は2ヶ月分を払います。この保証金は契約が切れたとき返却してくれることになっていますが、最終の月の家賃に充当するのが普通です。

エージェントを通じて見つけた場合でも当人はエージェントへ手数料その他を支払う必要はありません。エージェントが家主から適当に（普通家賃1ヶ月分の2～30%、1回かぎり）お礼金を受け取っています。

(ロ) 家賃……専門家が居住する家屋の平均的家賃。

法的には年間に政府査定の家の価格の11%以下と定められていますが、これで借家を得ることは全く不可能です。チリ人でこれ以上の家賃で契約しておきながら一人家へ入って後、告訴するケースが多いことも、チリ人



へ貸したがらない一因です。一般に、法定家賃の5倍位（月に25,000エスクード前後）で見つかれば良い方です。十倍を覚悟しておく方が無難でしょう。

法的には禁じられていますが、インフレがひどいため、ドル払いを要求されることはしばしばです。外国人の大部分はこれを受け入れており、これも外国人へ貸したがると一要因です。ドル払いの場合、大てい月に150～200ドルの間、たまに月々300～500ドルと云う例もありますが、少々チリの事情に通じている人であれば月50ドルでも見つかります。これだけ値段に差があっても家の大小、よし悪しに差はありません。

専門家とか外国人の場合、住むところは殆んど例外なしに住宅地区の中級の家であり、家の規模は大体似た様なものです。庭つき、寝室3つ、応接間、食堂、炊事場、使用人部屋一つが平均的なものです。

住宅不足の折柄、入手の難易・家賃には家具付も家具なしも大差はありません。今日、家具・冷蔵庫、洗濯機等の購入は殆んど不可能ですから、家具付ものをはじめから探がす方があとでらくです。

#### ① 独身者

この場合、チリ人家庭で下宿するのが一番簡単でしょう。食事付で月々10,000エスクード位です。日本と同様、下宿人をとる家で立派なものに当るのはむづかしい。それでも借家を見つけるよりはやゝ易しい様です。情勢が情勢ですから食事のまずいのは仕方ないです。

② 家族2人

やゝ小規模な家か、アパートを探がすことになるでしょうが、アパートの方が家よりはやゝ見つかり易い。家賃が月々5,000エスクードから20,000エスクード位ですとチリ人並みの値段。外人の場合ですとこの2倍は覚悟していた方が安全。

③ 家族4人

上記(ロ)家賃のところに記した通りです。①②③共、重ねて述べますが、かなり見つけるのに苦労します。

(イ) ホテル

① 短期滞在のホテル(食事込料金)

普通程度で税込み食事なし、2人652.50エスクード、単身424.0エスクード位。

高級で2人2,000エスクード、単身で1,700エスクード位です(食事なし)。食事は大体一人一食150～500エスクードが普通、少々高くなって1,000エスクード位です。

② 長期滞在のホテル又はマンション

月25,000～30,000エスクード下宿は単身の場合で月10,000エスクード位です(食事込み)。

(ロ) 什器・備品

① 携行を必要とする食器類等

和食用の食器を常用したい人は全て携行する以外はありません。しかし、洋食用の食器類で代用することも不可能ではありません。新らしく購入する場合、気に入らぬものは店頭から姿を消してしまっていま

すが売れ残りの様なものはまだ手に入ります。ナイフ、スプーン、フォーク等も同様です。

② 入居当初必要とする経費（冷蔵庫等購入代金）。

家具付の場合でも、小物や飾り付け等の経費として大体 50,000 エスクードは必要でしょう。

念のため、チリ製の電気製品の値段を記しておきます。

冷蔵庫 (10 feet)	Esc	26,188
洗濯機 反回転・回転速度の調整共になし	#	30,000
床掃除機	#	8,900
ジュース	#	5,000
ストーヴ ガス用	#	5,000
石油用大	#	7,000
小	#	3,667

いずれも、今日ではヤミ値でも入手はむづかしく、殆んど手に入らないものばかりですが、一応公定値段だけ列記しておきます。すぐ手に入れたい場合、上記公定値段の 5～10 倍の金額を予定して探がす必要があります。

2. 食 品

(1) 食料事情

① 一般的食料事情（特に不足の品）

魚、海産物、野菜、果物、卵等の様にあまり公定価格にしばられていないものは年中不足しないが、チリ人が日常消費し、公定価格のはっきりしたもの、例え

ば米、小麦粉、食用油、砂糖、肉類、バター、酢、ブドウ酒等酒類、乳幼児用粉乳等は非常に不足です。例えば食用油の場合、売り出すと公示あれば朝3時頃には行列が出来ており、店を開ける10時頃には2～300人の行列になっており、行列の全部にはあたりません。運よく行列の自分の番まで当たった場合でも一人につき1/8リットルです。上に例記した様な品物のどれも似た様なものです。

② 日本食品（味噌・醤油等の入手状況）

味噌・醤油は味にこだわらなければサンチャゴの日本人で一軒だけ作っている人があり、そこで売ってもらえる。この場合、醤油はまあまあの味、味噌はあまりいたぶけない。その他の日本食品の現地での入手は出来ない。

③ 水

水はアンデスの山から直接に取り入れたものでおいしくきれいです。

鉱泉水も3つか4つのマークがあり、おいしいのですが、日本人には水道水で充分です。ただし、北部チリ（カルデラ港以北）では水不足で、時間給水のところがあったり、塩味であったり、ヒ素等が混入していたりで、問題が多いです。

④ 燃料

電気を燃料とするところは殆んどありません。しかし、度々ガス、石油が不足したりするので、非常用に炊事用・暖房用電熱ストーブを一つか二つ適当に持つ

ておくのが安全です。

大都市中心部には都市ガスがあり、周辺の住宅地区では液化ガスが一般的です。

暖房用ストーブはガスと石油が主で液化ガスの場合45kg入りボンベですと各家庭へ配達してくれます。これ以下の容量では配達はまれですし、夏はあまり問題はなくとも、冬は長蛇の行列で得なければなりません。石油も200リットル以上であれば各家庭への配達がありますが、これ以下だとこれ又、行列です。行列の場合一人50リットルまでしか売ってくれません。冬には液化ガスもよく不足して配達が止ったり、石油もよく不足しますが、あるときには500リットルとか1,000リットル以上でないといめんどろ臭さがついて配達をおろそかにされる傾向が強いです。その上、ストライキが多く、度々配達が止まりますからガスボンベは1本、石油も最低1,000リットル位のタンクは用意しておく方が安全です。

木炭及び薪は充分にあります。友人等を招待して焼肉したり、暖炉を燃やしたりする程度であまり一般的ではありません。

石炭もありますが家庭用としては普通に使われていません。設備のある家が殆んどない。

#### ⑥ 調理器具

出刃包丁以外なら、刃物は日本のものとは型が多少異なるがドイツ製、フランス製、アメリカ製、日本製等現地調達出来ます。

勿論、電気・ガス炊飯器等と云ったものはないし、最近ではナベもフライパンも街の店頭より姿を消してしまった。

⑥ 調味料

味の素ぐらいはたまに入港する日本船から手に入れて来る日本人があつたり、時折商社に入って来たりで日本人の間では何とか調達し合っています。

カレー粉はあります。また例えばわさび、ショウガ等はこれに似たものが現地にありますがそのものズバリはありません。紅茶、コーヒーも手に入りにくいですが、現地でアグイータと呼ぶ草や木の葉・根等で香りや味のおもしろいのがあり、充分にお茶やコーヒーの代用となる。その他のものは皆無と云っていいくらいです。

⑦ 日本食レストランの有無

赴任早々は日本食とか中華料理の方が口に合い、特に後者について回を重ねて通うことになりがちです。日本食レストランはサンチャゴにたゞ一つ日本人会館（宿泊も可）があるのみ、街には皆無。サンチャゴ以外の都市にもない。

中華料理店はサンチャゴに10軒以上あり、サンチャゴ以北のたいていの都市にもあります。以南にはない。中華料理は最初のうち日本のものとはかなり味が異り口に合わないがそのうち何とか食べれるがその頃にはアキが来ています。

(ロ) 価 格

大体第一表の通り

第一表

1米ドル = 125 Esc.

品名	数量	価格 Esc. (エスク)
肉類 牛	1 キロ	280
豚	"	260
羊	"	280
馬	"	180
鶏	"	140
アヒル	"	130
七面鳥	"	2,000
タマゴ	1 コ	9~10
チーズ	1 キロ	340
魚類 マグロ (アツン)	1 キロ	400
(アルバコーラ)	"	400
コルビーナ	"	280
メルルサ	"	120
ブランキョ	"	60
シエラ	"	60
カレー	"	60
コングリオ (ネゴロ)	"	120
(ドラード)	"	250
ベヘレイ	"	80
カウケス (キス)	"	280
イワシ	"	30
ロバロ (タラ)	"	160

品名	数量	価格 円(セソ)
魚類 クロダイ	1キロ	60
トヨ	"	120
ヒダラ	"	250
タコ	"	150
海産物、貝 マチヤ	1キロ	40
アワビ	"	30(1=17~21)
アルメハ	"	30
ビコロコ	"	40
チヨルガ	"	70
チヨロ	1コ	50
ウニ	"	15
その他 エビ	1キロ	150
カニ	1匹	150
イセエビ	"	600
野菜類 玉ネギ	1コ	8
ジャガイモ	1キロ	30
サツマイモ	"	50
人参	1束(6本位)	25
セロリ	1本	25
ピーマン	1コ	15~20
アオマメ	1キロ	60
パセリ	1コ	15~20
トウモロコシ	"	18
ダイコン	"	12



品名	数量	価格 Esc. (エスクロ)
野菜類		
キウリ	1 コ	10
イタリアカボチャ	#	10
ナス	#	12
長ネギ	1束(6本位)	10
トマト	1キロ	40
オリーブ実	#	280
果物類		
スイカ	1 コ	100
メロン	#	50
レモン(大)	1キロ	90
(小)	#	30
ブドウ	#	80
リンゴ(赤)	#	96
(青)	#	80
モモ	1 打	280
カキ	1キロ	80
イチゴ	小箱	80
#	中箱	150~300
サボテン	1 打	70~100
パルタ	1キロ	140
洋ナシ	#	80
バナナ	#	60
クワ	#	60~80
ザク	#	96

## 外 食

下宿住いの単身赴任者でも朝夕の食事なしと云うのはまずまれなので、昼食の例で述べると、勤務先の食堂は安いが悪い。例えば、チリ大学の食堂では昼食一人前25 エスクードだが、内容はスープ（中味殆んどなし）とパン一切れ、それにメインプレートとしてタマゴ1ケか中指大のソーセージ一本に野菜が少々、良くてタマゴの代わりに馬肉が入り、最後のデザートに安いリンゴかバナナが一つつのみ。コーヒーは一杯5 エスクードで別に払う。これでは午後のお茶の時間まで空腹をやっと我慢出来る程度。だが、仕事の同僚との談話の楽しいのが取り得。街の食堂では一人前安くて150 エスクード、高いところで1,000 エスクード、普通3～500 エスクード前後。サンドウィッチでも一人前150 エスクードはかかる。

朝食はどこでもコーヒーかお茶とパン位が普通で特別な注文をしないかぎり、ホテルでも間借りでもたいてい宿泊料のなかに含まれている。夕食も大体上記街の食堂の昼食の場合と同様。

### (=) 携行すべき調味料等

魚、貝、カニ、エビ等々美味しいのがたくさんあるので、味の素、わさび、しょうが、のり、しいたけ、かんぴょう等持参すると良い。現地での入手は味の素以外は不可能。お茶、コーヒーも入手困難。

小さい子供のある場合は粉乳、砂糖、離乳食等は充分に持参した方が安全。

しかし、いざとなればアルゼンチンへ出て手に入れる  
 ことが出来るのでそれほど恐れることはありません。

### 3. 衣類及び日用品

#### (1) 衣料事情

##### ① 一般的衣料事情（価格、特に不足の品）

つい2年ほど前までは羊毛、綿、化繊等全て上質の  
 ものが豊富にあったが、現在では質も落ち、品数も少  
 なく、一品あたりの数量も少ない。一応、公表価格  
 は第2表の如くではあるが、気に入ったものは全て先  
 ず手に入りにくい。

第 二 表

#### 衣 料 品

品 名	価 格 (Esc.) エスクード
紳士用化繊シャツ	7 ~ 800
スウェーター	1,500 ~ 2,500
オーバー(男)	4,000 ~ 4,500
(女)中	4,000 ~ 6,000
(女)上	10,000 ~ 15,000
紳士用替上着	4,000 ~ 4,500
替ズボン(男)	1,000 ~ 2,000
靴	800 ~ 1,300
パジャマ	1,000 ~ 2,200
紳士用背広(注文仕立) (冬用)	6,000 前後
毛 布(一枚)	1,500 ~ 2,000
ベッドカバー	1,500 前後
シーツ シングル(綿)	1,500 //
出来上り ダブル	2,200 //

切実なもの例えばベッド用シーツ等も行列でようやく（シングル二枚分）だけ手に入り、また糸糸にしても、売り出しと公示あれば2つか4つの玉（一玉100g）を好みの色無視で、得るのに夜半からの行列、行列の全部にもあたりませんし、売り出す店の数も限ぎられています。子供用おむつ、針、糸もありません。従って、切実なものは全て持参すべし。

② 必要とする衣類（気候、公式、普段等の別による衣生活）

南北に延長4,000kmのチリ全土にわたり、昼夜の温度差ははげしく20℃位の差は日常のこと。したがって夏でも全土にわたり冬物ははなせない。

南緯40度のプエルト・モント以南では日本の札幌、プエルト・モントあたりから北ラ・セレナあたりでは東京、それ以北では沖縄あたりのつもりでよからうか。雨具もサンチャゴあたりから北では殆んど無用。格式の高い礼服も別に必要ではない。日本の場合と同様、公式の場へは男の場合黒系統とか紺色系のもの、婦人は適当に場に合うものと云うことになろう。婦人の着物着用は喜ぶこばれる。

③ 携帯すべきもの

現状では出来るだけ多く持参した方が安全。

(四) 日用品、特に高価なもの、又は入手困難なもの

日用品は全て入手困難なものばかり。特にチリ紙からカミソリ、ハミガキ、石けん、洗濯石けん、シャンプー、マッチ等まで日常最も必要なものはめんどうでも赴任期

間中に必要なだけは持参する方が良い。

文房具も同様。

#### 4. 使用人

召使、コック、庭師、子守、守衛、運転手等。

##### ① 職業紹介所の有無

私営、国営等多数あり。

##### ② 具体的雇用方法、斡旋方法

先ず、友人、知人又は勤務先の同僚等から紹介されるのが盗癖その他人柄等に関しても一番安全です。

これで見つからない場合は上記私営、国営の紹介所へたのむ。紹介された場合、1ヶ月間は仮契約で気に入ったら以後そのまま本契約、気に入らなければまた代りをたのむ。しかし、これでうまく行った例はあまり聞かない。チリ人ですら今日では良い使用人を得るのに苦労しており、年々人も少なくなりむづかしくなってきた。

##### ③ 通常の給与金額

最低賃金は月額2,200エスクード。通常、女中の給与は月3,800エスクード前後、それに保険その他の経費で給料の半額1,900エスクード位をプラス。勿論、食事と部屋は与えなければならない。

##### ④ 最低必要とする使用人の種類及び人数

女中1人と1週間か2週間に1度の庭師(1日3～500エスクード)はチリ一般の生活様式から必要であり、これで充分。女中に良いのがない場合、必要ときだけ子守をたのむことがあり、この場合1日6～800

エスクードまた掃除、洗濯等の手伝いさんとして各回2時間位づゝ週2～3回来てもらって月200～500エスクード位のもある。また、せんとくとアイロンかけだけに来てくれる人(派出せんとく婦)もたくさんいる。1回50～150エスクード位で2時間程働いてくれる。

⑤ 雇用・解雇に際して特に注意すべき事項

保険等の制度についてははっきり契約しておくことが必要。あとで告訴されて罰金をとられたりする場合が多々ある。解雇する場合は1ヶ月前に予告。予告した後は物を盗まれない様、特に注意した方がよい。

5. 医療

(1) 医療事情

① 医療施設

特にサンチャゴ、バルパライソ、ビーニャ・デル・マル及びコンセプションの様な大都市では個人の開業医も多いが大学、公立、私立等の大きな総合病院も多く、地方の主要都市にも国立の総合病院は必ずあり、また、そこで働く医師のほとんどが働く時間はほんのわずかで、残りの時間は彼等が個人で開業する診療所で働くため、個人の開業医と総合病院との連絡は密で、都市部では優秀な医師と設備にこと欠かない。

医師の診療はかゝりつけの医師に個人的にかゝる方が費用は多少高くなるがずっと良い。殆んどの大病院はクリニック式でその施設を貸し出している様な格好で、入院を必要とする様な重病の際には自分のかゝりつけの医師が担当医として乗り込んで来ることもある。

勿論、かゝりつけの医者を持たない場合とか、彼がその病気の専門でない場合には彼の紹介してくれる医師とか病院付の医師が担当医としてめんどろをみてくれる。

医師及び歯科医の一般的レベルは日本より高いぐらいだし、より人道的で信用のおけるのが多い。

家庭への往診は一般的で、どんな少細な場合でも気軽にやって来てくれる。

たゞ、最近、医者の方政府ストライキが多発して、大病院は特に大変です。出来るだけ早や目にかゝりつけの医者に良いのを見つけておくことがだいじです。

## ② 日本人医師の有無

チリにはいないが、日本人二世の医師はいる。

## ③ 出産の安全性

全てが非常によく出来ている。妊娠初期から特定の助産婦と医師のコンビを契約、同時に彼等が産院の予約と毎月のコントロールもやってくれる。

産後もよくめんどろをみてくれる。少なくとも初湯に入れるまでは助産婦が責任をもってくれ、医師が母体又は子供の状態に不安を抱いた場合、適当な期間、彼等のチームに属する信用のおける看護婦も廻わしてくれる。

サンチャゴの場合、産院は設備もよく、滑りつで静かなのが10ヶ所以上はある。

ことばに不自由な日本婦人の場合でも心配無用、安心してまかせられる。先ず初期にこだわることなく医

師にしる助産婦にしる気持のしっくり会うのが見つかるまで探してみるのもだいじなこと。

(四) 医薬品

医薬分業が完全に出来ており、医師は処方箋に薬の名前も書いてくれ、それにしたがってこちらで薬局へ行って薬を手に入れる。

つい最近まで良質な医薬品が全て安く豊富にあったが、今日では不足品が目立って来た。特に抗生物質の不足がいちどるしい。一般の砂糖不足から病院で使用する消毒用アルコールまで不足している。したがって医師指定の特定の薬を探がすのに2、3軒から10軒位の薬局をたづね歩くことも日常茶飯事。

しかし、まだ何とか手に入るので高級な薬品まで特に持参する必要はない。それに日本の医薬品に対してはチリの医師がよくその処方を理解せず、又慣れてもいないので高度な専門薬は現地で間に合わすことになる。たゞ痛み止め、キズ薬、消化剤、かぜ薬、常用薬等一般的なものは日本から持って来る方が便利。

(五) 疾病の種類

① 風土病的なもの

外国人の場合、ちょっとした不注意から赤痢、ビールス性急性肝炎等にやられることが多々ある。

② 特に予防注射しておくべきもの

なし。ご存知の通り、天候、ブドー酒、美人に恵ぐまれた健康地である。

(六) 健康管理上の注意事項



飲みすぎ、夜ふかし、夜の冷え込み、過労ぐらいではなからうか。

たゞ、乳幼児の場合、国で指定の定期的及び時々発生する不意の流行病に対するワクチン、予防注射等があるのでかかりつけの医師とか保健所などで確かめておくといい。三種混合ワクチン、小児マヒ、カゼ、ハシカのワクチン等は日本と同様全ての小供に義務づけられている。勿論、無料。

結核、胃ガンの多いことは留意すべし。

## 6. 子弟の教育機関

### (1) 教育制度の概要と教育機関（幼稚園・小・中学校）

プレ幼稚園（2 - 4才）

幼稚園（4 - 5才）

初級学校（5 - 14才） - 8年間

中級学校（14 - 17、8才） - 4年間

大 学（17、8才 - 23、4才） - 5 - 6年間

初級学校8年間のみ義務教育、上に示した年令は大体的なもの。15、6才になってから初級学校へ入学するもの、30才になってもまだ初級学校生と云うものいる。初級学校でも落第があり、また逆に出来のよい生徒には高飛びがあつて1年とぼして一つとか二つ上の学年へ編入する。

初級学校3年生から第一外国語を教え、中級学校では第二外国語（主に英語・ドイツ語・フランス語のうちから選ぶ、学校によってはロシア語の含まれるところも出て来つゝある。）

したがって外国語のレベルは日本より高いが、国語（スペイン語）を除く他の学科は日本の方がレベルは高い。

初級学校から国立も私立もある。国立の場合は授業料は無料、私立には無料と有料とがある。有料の場合は入学金300エスクード、授業料各3ヶ月毎に4,200エスクード位。数は初級・中級学校共私立の方が多い。

大学は国立総合大学のチリ大学、私立総合大学のカトリカ大学が最高峰で全国主要都市に分校も持つ。次いで国立工科大学、これも全国主要都市に分校を持つ。私立のフェデリコ・サンタ・マリア大学（バルパライソ）は最優秀のエリートの集まる工科大学。私立コンセプション大学（コンセプション）、私立アウストラル大学（バルデクビア）、私立ノルテ大学（アントファガスタ）私立カトリカ・バルパライソ大学（バルパライソ）。後の4つも総合大学。以上の8つがチリにある大学。

医学部は7年間、工学部、法学部、経済学部、建築学部、農学部は6年間、他は学科によって5年間又は4年間。

一番大きなものはチリ大学で毎年35,000人程度の新生を受け入れる（チリ全体で毎年5～60,000人の新生）。

(四) 通常専門家の子弟が利用している教育機関の実例（日本人学校の有無、国際学校の利用等）

現在、チリにいる専門家で現地の学校へ通学させている人はありませんが、大使館、商社等の駐在員及び欧米

人のチリ駐在員の例では、殆んどが私立の国際学校へ送っています。

イタリア、ドイツ、アメリカ、イギリス、フランス等、皆、それぞれの母国語及びスペイン語で教える学校を持っており、日本人の場合、多くはアメリカ、イギリスのものを利用しています。一つだけUNESCOのExperimental Schoolもあります。これは各国大使館員等の子弟がよく利用しています。

日本人学校はありませんが、最近になって日本人会で土・日、日本人子弟を集めて国語（日本語）を中心とした学習会をはじめました。その他、日本海外子女教育振興財団の通信教育を受けさせている人も多いです。

(f) 授業料

前述の通り。

(g) 通学方法（送迎・スクールバスの便等）

私立の学校の場合、スクールバスを持っているのはありますが、全部は持っていません。したがって、外国人の駐在員とかチリ人の中流以上の家庭の子弟は幼少の場合、殆んどが自家用車での送迎です。初級学校高学年になれば、バスでの通学が一般的です。

最近、通学用に国営のバスが発足しましたが、部品不足、車不足等で、まだ充分には動いていません。一般のバスは超満員で、よく振り落されて死亡したり負傷したりしますから、とにかくバスでの通勤・通学は大変ですし、危険です。

## 7. 娯楽設備

### (イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

ボーリング場はない。

保養地はたくさんあります。山、海岸、湖、温泉、スキー場等々、ほとんど都会から二時間以内で行けるところが多く、別荘、ホテルその他の宿泊設備が多数あります。サンチャゴ市内にも、サン・クリストバル、サンタ・ルシア、オヒーギンス等立派な公園も多いが、チリ人の間では週末郊外へ出るのが一般化しています。

映画館はサンチャゴ市内だけでも70館ぐらいあり、演劇場も10軒はあり、また、クラシック・モダンを問わず音楽演奏、バレエ等を定期的に催す劇場も2、3あります。ゴルフ場は市内外にも充分にあります。

### (ロ) 通常の余暇の過ごし方

家庭訪問、近郊のドライブ、休養が一般的。日本人の場合、つり、ゴルフも多い。

### (ハ) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

日本人会館がサンチャゴにあります。宴会、囲碁、将棋、マージャン、花札、トランプ等が楽しめます。会費は月100エスクード前後、収入によって金額が異なります。スポーツクラブはイギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、ユーゴスラビア、シリア、イスラエル等各国別の総合グラウンド、プール、室内競技場、集会場等をもった立派なものがありますが、日本人の数が少ないせいでしょう、日本のものはありません。

しかし、いづれの外国のものでも会員の紹介で自由に入会出来ます。入会金は10,000エスクード位です。

勿論、チリの水泳場、乗馬場、サッカー場、総合スポーツグラウンド、その他の各種運動クラブが大多数を占め、立派なもので国籍は問わず入会自由のものが殆んどです。

水泳場にしろ、野球場にしろ、何でも会員制のものが大部分ですから入会しておくといろいろと便利です。

チリの大きなスポーツクラブは各種のスポーツ施設を持ち、プロサッカーのチームを経営するものまであり、ボクシング、フェンシング、テニス何でも楽しめます。

## 8. 電 力

電圧は220ボルト、50サイクルです。

## 9. 交 通

### (イ) 交通事情

#### ① 一般交通機関の発達度と種類

パタゴニア地方、アタカマ砂漠等一部の地域を除き陸・海・空全般的によく発達しています。

航空機はサンチャゴより遠距離地方へはジェット機便、中距離地方へはプロペラ機便、それに私営のエアータクシーもかなり発達しています。

国営の飛行機がほとんどで、料金は外国人旅行者以外はわれわれ専門家も含めて半額（残り半額は国家負担）で安い上に、速いので遠距離への旅行の場合は鉄道・バス便よりは格段に便利。たと最近では、部品不足、その他整備上の都合等で欠航もあり、連日満員で

キップをとるのに日数がかかります。

### 第 三 表

#### 飛行機運賃

サンチャゴ＝ブータ・アレーナス間

旅客（チリ人） Esc. 2,095 + Esc. 90（片道）

（外国人） US\$ 40 + US\$ 12

貨物（45 kgまで）

Esc. 12,72/kg + 8%

サンチャゴ＝バルマセダ間

旅客（チリ人） Esc. 1,605.- + Esc. 195.-（片道）

（外国人） US\$ 27.25 + US\$ 8.-

貨物（45 kgまで）

Esc. 12,39/kg + 8%

鉄道は北のイキケより南のプエルト・モントまで通じています。北部では主に貨物便で、客車便はアントファガスタ～ポリビア又はアルゼンチンへの国際列車以外はあまり利用されていない。サンチャゴ～バルパライソ間及びサンチャゴ～プエルト・モント間は客車便・貨物便共によく利用されています。

ディーゼル機関車、電気機関車の他に、蒸気機関車も走っており、また、一部に日本製の機関車や、客・貨車も見られる。

道路は北のアリカより南はプエルト・モントまでチリの幹線道路＝カレテラ・パナメリカーナが通じて

おり、勿論、舗装道路で、よく整備されている。これから各地への道路が枝分れしている。バスのサービス網も長・短距離共、よく発達しており、車種も乗り心地の良い欧州製のものが大部分（最近ではブラジル及びアルゼンチン製のものもかなり増えて来た）。時間もよく守る。

船便はバルパライソ以北へは外国航路の船があって、アントファガスタ、アリカへ寄港するため良く利用されています。

バルパライソ以南プンタ・アレーナスまでは内国航路の貨客便が一般的ではないが、わずかに就航している。特にお客の乗れる船は夏期バタゴニア地方の観光シーズンに月1,2便あるのみ。たゞ、プエルト・モント～プエルト・アイセン間のみは250トン位の小さな船ではあるが回数も多く（週2、3便）、日程表もよく整備されていて、利用客も多い。

サンチャゴ市内にはここ1、2年のうちに地下鉄も開通する。市街電車は昔のことで今はない。田舎（北・南部共）へ行くと馬車のタクシーが多い。

チリ中、何処へ行っても市街地の交通はバスが主体で、バスには普通の大型車のバス（ミクロと通称）と、高級の小型車（リエブレと通称し、25-35人乗り）の定員で座席数しか乗れないバスがある。ラッシュ時は両方共混むのが昨今で、乗客が入口からはみ出してぶら下っている。振り落されて死者の出る事故も度々で、用心しないと危険です。

## ② 道路事情（舗装状況等）

1970年現在でチリ全体での舗装道路延長キロ数は8,223Km、非舗装道路は46,200Km。

市街地では、最近、信号の故障したものが大部分ですが、舗装状況は良く、ゴバン目の道路網で道も、番地もわかり易い。

サンチャゴ市中心部では、最近、非常な駐車場不足をきたしている。

チリ南端部（パタゴニア地方）のチロエ、アイセン、マガヤネス各州では道路網の発達も舗装状況もおくれており、車で行けないところの方が多い。車を持って行くときにはジープが一番良い。日本製のトヨタのジープが力も強く、この地方では約30%のシェアを持ち、整備をやり易い。

## ③ 特に注意すべき交通法規

右側通行以外特になし。右ハンドルも可。

## ④ 交通事故の取扱い

こちらが被害者である場合、一般に加害者から補償金をとるのはむづかしい。たとえ取れたとしても、部品をあちこち探しまわったり、修理に日数がかかり過ぎたりで早急に満足な状態に車をもどすのはむづかしい。特に事故を起こすのは対バス及びトラックが多く、運転手には支払能力はなく、刑務所行きをえらぶ。刑務所へ送ってもどうにもならないので、被害者がチリの人の場合でも泣き寝入りが多い。加害者に支払能力があっても裁判では時間がかかり過ぎ、5年以内で解



決出来るのは先ずまれ。

他方、こちらが加害者である場合は、法律を前面に出して頑張っても、良心、周囲の反感等に外国人としては耐えられるものではないので、出来るだけ示談ですみやかに解決するのが望ましい。

被・加害者どちらにしても解決のために裁判とか法律をあまりに頼りにするのは非現実的で、自分もしくは対牛の保険その他示談等を通じてすみやかに解決するのが一番です。参考までに事故数を第4表にあげておく。

第 4 表

最近四年間の事故

年	事故数	負傷者	死者	車の数	人口
1968	21,751	17,477	1,165	295,992	9,458,000
1969	22,874	17,866	1,362	314,029	9,775,000
1970	25,472	20,682	1,491	362,944	9,820,000
1971	27,506	22,605	1,618	———	10,045,000

⑤ 事故補償（保険制度、保険金、補償額等）

対人、対車共に保険制度がある。チリの保険では対人の場合、50,000 エスクードを最高限度として支払うが、それ以上は払わない。したがって対人の場合に備えてイギリス、アメリカ、日本等世界的に通用する外国の保険をかけておく方が良い。ただし、日本の保険会社の場合、チリにある代理店を通じて処理するため日数がかかり過ぎる。

対車の場合、車の価格は公定で、例えば、F I A T

- 125Sが900,000エスクードではあるが、一般の価格（公然のヤミ値）は2,000,000エスクードはしており、保険会社はこの後者の価格で契約してくれる。この場合、年間の保険金額は111,093エスクード。

(ロ) タクシー、ハイヤーの利用・料金

最近、サンチャゴのみならずチリどこでも街でタクシーをつかまえるのは宝くじを当てる位にむづかしい。

タクシー料金の公定値段は非常に安い。最初の料金は11エスクード、サンチャゴ市内であればどこでも50エスクードで足りる。夜間及び休日の料金は50%増。最近では、ラジオタクシーが非常に多い。最低150エスクードはとるが、街でタクシーをひろうよりずっと確実で簡単。電話で呼ぶと、指定の場所へ大体30分以内に来てくれる。

国際空港⇄市内間は特別で450エスクード。

ハイヤーは市外のみ。最低500エスクード（例えばサンチャゴ⇄バルパライソ間）よりはじまり、北端のアリカまで行くと35,000エスクード。

つい、最近まではバスの様に一定路線を走る乗合タクシー（1人どこまで乗っても5エスクード）がたくさんあったが、今では部品不足・車不足のためほとんど見当らなくなった。

(ハ) レンタカー

たくさんある。大体フィアット125（ブルーバードを少し良くした程度の車）で借用料3,400エスクード、

1Km走る毎に22 エスクード加算、それに上と同じく40%の税金ですから100Km程走ると5280 エスクードを一日あたり支払うこととなります。これも上と同様に月ぎめで借りると15%の割引となっています。

一般的に云って良い車を提供しています。現在では普通のサラリーマンで自分の車をレンタカーに貸し出して生計の足しにしている人も多いです。

#### (二) 自動車購入

##### ① 購入方法、融資方法

チリで購入する場合、外国製の完成車は外交官等の免税輸入特権以外、関税その他で事実上輸入禁止同然となっており、国産車（組立て）の購入となります。

車種は高級車でダッジのダート、普通車でフランスのベジョー、イタリアのフィアット125、日本のブルーバード、イギリスのMG-1000、小型車はイギリスのオースチンミニ、イタリアのフィアット600、フランスのルノー、シトロエンがあります。

新車の販売は国営販売会社の専売であり、支払方法には一時払いと分割払いがある。手渡たすのは申込順とくじ引きの両方、いずれも公定価格で渡たすので、申込者は何千人とあるが、最近、生産台数が非常に少ないため1年や2年では手に入りにくい。また、公定価格とヤミ値の開きが2~30倍以上と、大変に大きいので、購入してすぐヤミに流すのも良い。したがって、ヤミで買う以外、確実に手っ取り早い方法はない。現政権担当の政党员間にも不正であるが横流しし

ている人もいるので、このルートで手に入ることもある。勿論、この場合もヤミ値です。

チリでの融資制度はない。

### ② 免税輸入特権について

各外国より来る専門家には免税輸入特権が与えられており、チリ外務省を通じて手続きをする。

しかし日本からの専門家の場合にのみ、二国間の技術協力協定がないため、この特権はなく、うまく行って上記外務省より特別な例外として一時輸入の許可を与えてもらえる。

免税特権で輸入する場合、車もその日用器具と同様、チリ到着の日より6ヶ月以内に輸入申請をする必要があります。

### ③ 帰国時の売却方法

日本以外の外国より専門家は帰国時現地で売却出来るが、日本人専門家の場合にのみ、帰国時持ち帰らねばならない。(上記二国間協定がないため)

もし、二国間の技術協力協定が出来れば外交官等と同様現地で売却出来る様になる。この場合、2年以上現地で使用した車であれば、従量税(3×金ペソ×車体重量×貿易決済レート×1/2)+従課税(3.4×C.I.F.×貿易決済レート×1/2)の税金を支払う。金ペソとは税関査定の値段、貿易決済レートは現在US\$1.00=240エスクードとなっている。

車の現地使用期間が2年に満たない場合は、上記の二税額の2倍を支払うことになる。最近では非常に高

額なものとなり、各国外交官の間でも不腹が出て来ている。事実上現在チリ人で上記の税額を支払ってまで購入出来る人は少なくなっている。

(外) 運転免許

① 国際免許証の有効性

一年間有効であり、それ以上滞在する場合はチリ到着後1年以内に市役所でチリの免許証に書き換える必要あり。

② 免許取得の方法、経費等

国際免許証を持参の場合は上記の通り、市役所で色盲、運動神経、法規等の簡単な試験をやった後、現地の免許証を渡たしてくれる。

国際免許証を持参していない場合は、自分で直接又は、自動車学校へ通った後、市役所の陸運事務所へ行き、試験を受ける。試験は意外と簡単。

双方の場合共、写真と検察庁の無罪証明書が必要。

実地と学科の試験があり、合格すると免許証は当日か2、3日以内にもらえる。費用は400エスクードぐらい。

自動車学校は1日1回1時間のクラスで3～4週間、授業料は18～30オで5,000エスクード、31～40オで6,000エスクードとなっている。

(外) ガソリン代

普通で1リットル当り1.95エスクード、ハイオクタンで1リットル当り5.7エスクード。

オイルは5リットル入り1カンで200エスクード足

らず。

ガソリン代、オイル代共に日本、西ヨーロッパとくらべると大変に安い。

政治的な非常時にはガソリンが真っ先に不足するので、常に満タンにしておく様心掛けた方が良い。非常時は度々あり、その度毎にガソリンスタンドには長蛇の列が出来る。重要な非常時には医者、政府・軍等の高官等と同様に外国からの外交官、専門家にもスタンドを指定して特別に売ってくれることがあるので、着任早々、在チリ日本大使館を通じてチリ外務省発行の専門家用の身分証明書をもらっておくと便利。

## 10 為替

### (イ) 相場

公定レートのみで下記の通り各種のレートがある。一応、最近のものを載げておく。最近、非常なインフレで短期間に度々大きく変動している。ドルをはじめ、各外国の貨幣に対するヤミ値は公定の10倍位のところを上下している。

買相場（48年5月14日現在）

US\$ 1 = 125 エスクード（それまでは70 エスクード）

売相場

第一区分（外資償還、外国留学費、非商業用医薬品購入代金等）

US\$ 1 = 80 エスクード（それまでは36 エスクード）

第二区分（第一及び次の第三区分を除く貿易外取引）

US \$ 1 = 130 エスクード（それまでは4.6 エスクード）

第三区分（国外旅費、運賃・滞在費等）

US \$ 1 = 216 エスクード（それまでは197 エスクード）。しかし、この相場は税込みでは33,030 エスクードとなる（税率5.315%）。

これら区分の他に、銀行市場為替相場として輸出に対してE、F、Gの3相場、輸入に対してA、B、C、D-1、D-2の5相場、貿易外支出に対してC、D-1、D-2の3相場、貿易外収入に対してB、E、F、Gの4相場等と実にやゝこしい。

相場の違いで最低20 エスクードのものから最高350 エスクードのものまで変わる。

(b) 対日送金

各外国大使館員、商社員等の殆んどが外国に銀行口座を持ち、これを通じて行なり。

外国に預金口座のないかぎり、かなりむづかしい。不可能ではないが、いったんチリ国内の銀行へ入金してしまると、国外へドル等にして送金する手続きが非常にめんどろくさく、事実上無理です。

(c) 滞在費等の受取方法

日本からの送金先として通常利用されるのは東京銀行ニューヨーク支店であり、こゝよりチリへ入金通知が郵送されてくる。

小切手帳は赴任するとき、充分にもらって行く方が良

い。郵送では事故が起こり易い。この東銀小切手を在チリ日本大使館の保証書付きでチリ中央銀行にてその都度の必要額だけ現地通貨へ換金するのがよい。

日本から直接又は、間接的に上記東銀＝ニューヨーク支店等からチリ国内の銀行（国営の銀行のみ為替業務を取扱う）へ金額送金してもらうのは上記(イ)及び(ロ)の理由で現状ではあまり得策でない。

銀行以外での換金は不法であり、ドル等外貨のヤミ取引が横行しており、取り締りの眼がかなりきびしいので最大限に要注意。

## 11 出入国管理

### (イ) 税関検査

#### ① 一般事情

特に嚴重でもなく、普通と云えよう。

他のラテン・アメリカ諸国の様に露骨に税関吏からワイロを要求することもない。

#### ② 持込禁止品

日本と同様、武器、麻薬等。

#### ③ 入国に際しての注意事項

チリ外務省より公用ビザをもらうまでは一般旅行者同様、滞在予定日数に対して1日10ドルづつ空港で替えさせられる。専門家の場合、入国時2、3日分交換しておけば良いでしょう。正式にこの義務から免除されるために、到着早々、在チリ日本大使館を通じて上記公用ビザ取得の手続をすること。在日チリ大使館でもらう公用ビザではこの1日10ドル換金の義務か



らの免除には通用しない。

他には特になし。

④ 持出禁止品

貴重な文化財等の持出は正式に手続するにしても許可をとるのはむづかしい。

学術用その他のサンプルでも関係機関の許可をもらったり、コピーを残すことを強いられたり面倒臭い場合が多い。

(ロ) 外人登録の有無

チリ滞在目的が観光、旅行立寄等以外の外国人はチリ内務省の外人部へ登録させられる。

専門家で政府機関とか大学、企業等で働き給料も受け取る場合は必要となるがそうでない場合はチリ外務省の専門家登録証だけで結構。したがって前記の通り、外人登録をするしなにかゝらず着任早々に在チリ外務省の公用ビザをもらうことがかんじん。これには一般の外人登録でもらう身分証明書とは異なり、政府で受け入れた技術協力に基づく専門家であり官吏及び軍隊の便宜供与を要請すると銘記した上記専門家登録証が伴いその有効期間は1ケ年、それ以上の長期滞在の場合は年々公用ビザのみ在チリ日本大使館を通じて書き替える。

これにより一般観光客に課する上記1日10ドル換金の義務から正式に解放されるし、また、非常時その他の折にいろいろと便利なことが多い。

(ハ) ビザの更更新手続

上記(ロ)の通り毎年在チリ日本大使館を通じてチリ外務

省でやってもらおう。

## 1.2 便宜供与

### (イ) 便宜供与の種類

#### ① 住宅手当等の現金供与

政府間交渉に基づくものですが、フランス、ドイツからの専門家にエスクードによる給料の一部支給、アメリカ、ソ連よりの技術者に給料の全額ドル支給等の例はある。現在のところ、日本よりの専門家で何らかのかたちでの手当をチリ政府より支給されているものはいない。どちらにしても、チリの現在の住宅事情では、たとえ、チリ政府支給の住宅手当等が支給されたとしても実際面ではあまり意味をなさない。ヤミが横行し過ぎている。

#### ② 出張旅費、公用車の提供、ガソリン代の支給の有無

出張旅費は一日 800 エスクードくらい支給される。勿論これでは宿泊費で精一杯。公用車の提供は、出張のみで通勤にはよほどの大人物でないかぎりない。役所にもよるが、最近では車の数が不足の上、故障車が多く、部品も不足で充分でないところが多い。

ガソリン代は個人、公用どちらの車にしろ出張の場合には請求すれば支給される。

#### ③ その他（住宅提供、現物供与等）

チリの現状からみて、大鉱山等は別として住宅提供・現物供与はないと思って良い、たとえあるとしても満足なものはない。

最近、全国的に生活必需品がはなはだしく不足を来

たし、配給制度が次第に一般化しつつあるが、これを通しても必要量を満たすにはほど遠い。外国からの専門家にも外交官と一緒に、日常必需品の最低必要量だけ入れたバックを勿論公定価格で配給される由だが5月現在まだ実行されていない。

(四) カウンターパート、通訳

本来のチリ人気質で、一般に非常に親切で世話好き。勿論、時間や約束にルーズな点はあるが、これは国柄で仕方のないこと、逆にこちらもそれで助かる場合も多々ある。カウンターパートには大学卒業後ヨーロッパやアメリカ等へ1～2年留学したものも多く、また実地の面でも少々欠けるところはあっても、チリ人一般的に現地的な面での理解ははやく、実地でのみ込むのも早やいのが多い。チリの大学卒の一般レベルは何百も大学のある日本の大学卒の平均レベルよりは高いと思って間違いない。

通訳は日本語のしかも専門分野のわかるものになると、現地在留の日本人とかその二世を含めてもチリには皆無と云って良い。スペイン語と英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、アラブ語、イスラエル語間とか英・独仏・伊各語間の通訳なら何とか見つかる可能性はある。

日本からの専門家でスペイン語が駄目な場合は大てい共通しているので、通訳を入れることは、よほど専門的に程度の高い重要事項を指導される年輩の大家なら別でしょうが、普通にはまず必要ない。だいたい、間に人が入るとまだるっこく、手間どりすぎまた、かえって人間的にも距離が出来すぎる。ことばに不自由な間は英語、

ドイツ語等に手まねを交えても結構、出来るだけダイレクトに接する様努力した方がよい。最初は手間どるが、そのうち相手も慣れて、言外の意さえもくみ取れる程になり、大事なことも何とか理解するところまでに行き着く、その頃にはカウンターパートとの最良のコンビも出来上っている。問題はことばではなく、まる出しの人間と人間との間のことである様に思える。要するに人柄でしょう。その方が結局は専門家の語学の習得も早い。

### 13 通信・運輸

#### (1) 郵便事情

##### ① 安全性・配達システム（各戸・P、O、BOX等）

大体、安全と云えるが、手紙はよく開けられて来ることもあり、特に現金が入っていたり、また、絵ハガキ、切手のきれいなものは届かない場合がある。2月、勘定してみたら16通日本へ出して9通が不着に終わったが、これは特別の例の様です。

各戸配達の場合は1通につき0.5エスクードを配達夫に支払う。P、O、BOXはいちじるしく不足しており、会社・官庁事務所等は持っているのが多いが、新しく個人で持つのは非常にむづかしい。

日本からの小包便は航空便なら手紙類と同様、7日以内には着くが、書籍とか急を要する薬品以外はサンチャゴの税関で1ヶ月位留められ、この間に小さなもの例えばタバコとかお菓子などは度々抜き取られている。

##### ② 電報・電話サービス

国内電報のサービス網は全国くまなくよく整備されていて、自動車道路の行き着かない僻地、郵便・電話のないところへも打てる。しかし、都市部を除いては、受取人がオフィスへ立ち寄るまで1ヶ月でも3ヶ月でも置きざりにされており、至急の場合にはあまり役立たない。大都市間でも各戸宛では至急報で2～3日かかる。料金もかなり長文のもので50エスクードを越えることはまずない。

ナリの電話は中南米でも特に普及度の悪い方で、大都市でも、大変に不足しており、新規に取りつけるには申込順で、早くて2～3年、ひどいのは10年以上かかっているのも多々ある程で、殆んど不可能。したがって家を探す場合は電話のすでにあるのを指定した方が得策。

大都市内ではダイヤル式、他の都市では手動の交換式。

### ③ 手紙・電報の日本・現地間の所要日数

手紙は航空便で3～7日、船便では3～4ヶ月位。

国際電報は、大都市であれば大体当日に着く。地方都市では大きな事務所等で当日。

### ④ 地方主要都市との連絡方法

電報の場合、至急報でも最低3日をみておく方がいい。

長距離バスも会社で郵便業務を取扱っており、これを利用した方が一番早くて安全・確実な場合が多い。

地方都市間の電話は回線数も少なく、また、大てい

開きとりにくい。つながるまでに要する時間も不定で  
大体30分から半日をみておく必要がある。

地方都市間のダイヤル通話なし。

(ロ) 運送

① 陸送・海送業者の有無・料金

陸送・海送共に業者がある。国内ではアリカ＝ブエ  
ルト・モント間は陸送が普通であり、早くて安全。ブ  
エルト・モント以南では海送か空送となる。一般に後  
者の方が早くて安全、手続きも簡単な上に、政府の補  
助で料金も安くしてあり、1トンでも2トンでも受け  
つける。(前記第3表及び下記第5表、第6表参照)

第 5 表

トラック運賃

サンチャゴ＝アリカ	Esc. 7 / Kg
＝アントファガスタ	Esc. 6 / Kg
＝コピアボ	Esc. 5,50 / Kg
＝バルパライソ	Esc. 4 / Kg
＝コンセプション	Esc. 5 / Kg
＝ブエルト・モント	Esc. 6 / Kg

第 6 表

船 運 賃

バルパライソ＝ブンタ・アレーナス	Esc. 895,77 + 11%
バルパライソ＝ブエルト・モント	
＝アリカ	Esc. 658,58 + 11%

バルパライソ＝アントファガスタ

Esc. 599.31+11%

② 家財送付上の手続・宛名注意事項

日本へ送る場合、日本から送る場合と同様、通関業者・荷造業者を通じてやる方がスムーズに行く。所要日数・盗難等に対する不信感から自分でやりたがる人が多いが、結局は業者へまかす方がロスが少なくて助かる。日本から送る場合は、宛名を在チリ日本大使館気付とする方が安全・確実。船が入港する前に早目に通関手続をはじめて、船の入港と同時に受け取れる様手配しておく方が、破損からも盗難からもまぬがれる率が大きい。大てい、知人の中には税関吏と懇意なのが2、3いるのでそれを通じて前もって親密な連絡をとっておくとずっとスムーズに通関できる。アミーゴの国であることを忘れないこと。

14 言語

(イ) 公用語等の普及率

公用語はスペイン語、普及率は100%と云って良からう。

教育を受けた人の間では英語が第一外国語でしょうが、ラテンとの共通性で、フランス語、イタリア語、ポルトガル語の方が通じ易い場合が多い。また、南部（主にテムコ＝プエルト・モント間）ではドイツ移民が多くドイツ語が便利。アラビア語、イスラエル語も数から云えば少ないが全国的に話せる人が散在しているし、北部のアレトファガスタ市や南端のプンタ・アレーナス市ではユ

ーゴ・スラビアからの移民が多く、スラブ語を話せる人もいる。

その他、南部にはまた、マプチェ族、北部にはアイマラ及びケチュア族等、原住民の村落があり、彼等の言葉を話す、スペイン語も通ずる。チリで日常話すスペイン語のなかにはこれ等原住民の単語がかなり入っていて他のスペイン語国では通用しない「チリ語」も出来ている。

一般的に云って外国語の普及度は日本以上の様だ。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

通り一遍の文法だけでも結構、必らず赴任前にやっておく方が良い。

(ハ) 語学々習の施設・受講時間等

スペイン語を一般外国人に教えているのはアメリカ文化センターで、月曜日から金曜日までの毎日のコースと週2日のコースがあり、それぞれ1日2時間づつ教えている。1コースは大体1ヶ月で終了し、授業料は1コース3,000エスクード位。3コースが一学期となっており受講者の募集は3ヶ月毎に行なう。個人教授も英語、フランス語を教える人は2人か3人位の日本人しかいない。

英語、フランス語は街のあちこちで開講しているが、英語はアメリカの文化センター及びチリ・イギリス文化協会、フランス語はチリ・フランス文化協会、ドイツ語はゲーテ協会が大きく一般的に公開して教えている。日本語も小さいながら日・チ文化協会でも週1回教えている。



## 15 気候

先にも書いた通り、サンチャゴは3Wの地、年間の雨量は300ミリ程度、地震はあるが、台風も大雨もない。日本に1回の台風が1日にもたらず量の雨を1年間かゝって受け止める（雨の降るのは主に冬の3ヶ月で残りの季間には一滴の雨も降らないと云っていいくらい）。

気温も昼夜の差は大きい、夏は暑くて32～33℃位の日が一週間足らずある程度。しかし、空気は乾燥しており、街路樹、公園等も多いため、日本の夏とは比較にならない程にしどき易く、夕方にはアンデスからの涼風でグンと冷え込み、快眠をむさぼれる。そもそも30℃を越す日はまれである。夏の陽光は朝6時頃から夜の10時頃まであり、夏時間を採用して1時間時計を進める。冬も寒くて0℃そこそこ。寒い年に例外的に2、3回5～10センチの雪が積ることもあるが、当日か、おそくて、2、3日のうちに消え失せる。

サンチャゴ以北（特にバジェナル以北）は雨の降らない常夏の国、度々、カマンチャカと呼ぶ厚い霧が午前中たち込める程度。サンチャゴ＝ブンタ・アレーナス間は気温・雨量ともに概して日本の東北～北海道地方に似ている。

## 16 治安

### (1) 一般情勢

チリはこれまで、外国の駐在員からも保養地と云われていたほどに、平穏そのものゝ国であったが、最近、強盗、殺人事件から政治的な不安に起因した非常事態宣言やデモの激しいのまで度々みられる様になってきた。

(ロ) 夜間外出上の注意

普通一般時には、特殊地域の一部を除いては殆んど危険はない。

しかし、夜間外出禁止令の出たときは、おとなしく家にいる方がよい。禁止令を破って射撃され死亡した外交官、高級官僚、政治家、軍人（将軍クラス）、警官等の数も多いから十分に注意すること。

(ハ) 緊急時に於ける大使館等との連絡方法

サンチャゴ在住者は連絡があり次第、全員、大使公邸へ避難することになっており、その場に備えての緊急連絡網も出来ている。サンチャゴ以外に在住の人は自分で身の保身を図るしかないが、チリ人は一般に良くしてくれるから友人か知人宅へでも避難していれば良いでしょう。たゞ、いまだかつて、それほど大きな騒動が起ったことがないので安心してチリ人を信じていて良いと思う。

17 その他

(イ) 対日感情

悪くはないが特別によくもないから親日的と云って良いのではなからうか。これまで、直接的に両国間の利害的対立がなく、よく日本の両面を身にしみて知らないとも云えようか。一方、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス等については実際的によく両面を知っている。対日感情と、対北欧三国とかスイス、オーストラリア等へ対する感情とはかなり異なる。

急速な経済成長に対する賞讃と不気味さ、一部の日本通は別として、一般には極東にある国と云うだけで最近

新聞・テレビをにぎわすベトナム、中共等と国情についてははっきりとした区別はせず、また、映画等から芸者、さむらいの国という混同したイメージが強く残っているのも事実。かなりの知識階級の人でも、日本にある企業はアメリカのものであると思っているものもあり、また、別の面では東洋人よりは西洋人の方がすぐれていると信じ込んでいるものまでいるのも事実。これ等を是正しようとやっきになっても無駄で、少しづつ自分の周囲から日本と日本人のありのままを、良い面も悪い面もフランクに話して知ってもらう以外にない。

チリ人氣質は、一般的には、ラテン的気質が原点で、先ず人種的偏見よりは、直接的に好感の持てる相手か否かで全てがはじまる。

しかし、最近では、国情が政治的意見に左右されて揺れ動いているため、相手の政治的見地に原点をおく場合も多くなって来た。外国人はこれに一番気を使わせられる。何処へ行っても左右両方の勢力に二分されており、どちらについてもやりにくい。ひどい場合には、単に社会主義国、自由主義国いずれの国民であるかによっても感情を丸出しにされる。

(ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法

新聞は海外新聞普及K.K.より取り寄せるか、大使館・商社等から廻してもらうこともある。

雑誌は日本の本屋より直接送ってもらう。

② 日本語雑誌等の販売店の有無

チリにはない。

(ハ) 風俗・習慣

① 特に禁じられている風俗・食習慣、チップ等

特にないが、チリ自体が各国からの植民で成り立っている国であるから、例えばイスラム教徒が豚肉を食べないとか、インド人は牛肉は駄目だとか云うことは残っているから、招待した時等、相手によって、一応、こちらで適当に気をくばる必要がある。

日本人には普通一般のことで、チリ人に特にいやがられることは、食事のとき、ゲップを出したり、音を立て、スープを飲んだり、めん類をのみ込んだりすることで、ときめんに不快感を抱かれ、たまにはそれをそばで見たり聞いたりするだけで吐き気をもよおす人もあるくらいだから、気をつけた方がよい。

外で食事をした時など、チップは一応、食べたり飲んだりした額の10%、請求書に含まれて来るが、まだ一般に以前のチップの習慣が抜け切れず、普通、それにもう10%ぐらい机の上に置いて行く。勿論、その場の雰囲気にもよる。

② 専門家としての体面

プライドが高かすぎたり、やたらと相手に対して不必要な知識をひけらかしたりすると、とき面に反発を買うので一歩引き下った控え目な態度で、同等のレベルで相手を見ながら仕事をはじめ、その過程で自然と敬意・好感を抱かれる様に努めるのが一番良いでしょう。チリ人は南米のイギリス人と云われている位にブ

ライドを傷つけられるのがきらいです。したがって、知らないことでもたずねられると「知っている」と答えるのが普通であり、こちらで適当に見抜いて相手の体面を傷つけない様に気を配って理解してもらおう様努める。

現状では、外国人の派手な生活態度も強く反感を抱かれ易い。チリ人の苦勞を上そこにヤミドルでノーノーと生活している外国人の多いことは留意しておく必要がある。

(三) 理髪店、美容院、クリーニング店

清潔なところ、そうでないところいろいろありますが、一般的には清潔です。

理髪店は1回50～150エスクード位。日本の様に時間をかけて、ていねいにやってくれない。いきなり髪を刈り、コメカミをそり落とす程度。

美容院は170～200エスクード位。

クリーニング店はKg単位で1Kgあたり350エスクード位。勿論、割高になるがYシャツ何枚、ズボン何本という扱いもしてくれる。(第7表参照)

第 7 表

クリーニング代	
ズボン (ファイバー)	Us c. 55
(羊毛太)	"    65
上着	"    65
背広上下	"   120
オーバー (婦人用)	"   150

オーバー（紳士用）	Esc. 165
長上着	" 90
スウェーター	" 50
白Yシャツ	" 30

理髪店の多くは街の中心部に集中しているが、美容院クリーニング店は街中散在していてどこにもある。

クリーニングは最近洗剤が不足して、シーツ等大きなものは扱わないところが多くなり、白いシャツがうす汚れて来たりするが、弁償してくれるわけでもないから、仕方なくあきらめるしかない。

#### (6) 買物

日常の食料品は市内あちこちのブロックで毎週1回とか2回くらい決った日に、野菜、果物、魚、海産物等の移動市が立ち、近郊から馬車や古くさい自動車に積んで集まってくる。また、定着の大きな中央市場も数々所ある。

肉屋や日用雑貨店、八百屋、薬局、パン屋等はあちこち隣近所にもあるが、最近、特に肉屋は、肉のある日のみ、夜半より長蛇の行列が出来、普段の日は開店休業、わづかにハム、ソーセージ、チーズ等をならべている。

一般の買物には、デパートからスーパーマーケット、小さな小売店まですべてあるが、上述の通り一般化した品不足でこれという品物にはなかなか出くわさない。

以前並べてあった場所に別の品物、例えば毛糸や食料品等の代りに不用のオモチャとかプラスチック製品等が埋め合せて置いてあるところが多い。たゞ、既製の衣

類、靴等は好みをうるさく云わないかぎり、割と豊富にある。

みやげ物にはあまり品不足は目立たない。銅細工、オニックス、ラピスラズリ、十字石等の石細工、皮製品、原住民の作る織物や土着の焼物等多々ある。

(2) 今後赴任される専門家に対するアドバイス

- ① 買物の行列を覚悟してくること
- ② 1日も早くチリ人との家族単位の交際が出来るようになること

一般の交際は家族単位で、通勤先での交際とは比較にならない程に重要である。いったん家庭に招待したり、されたりすると急に全てにわたってフランクになり、輪をかけて親身になるのがチリ人。たゞ、相手が真に親しい友人であれば別に気に掛けることはないが、出来るだけ彼を通じて交際範囲が左右両意見のどちらかに片寄りやすいのでそうならない様気を付ける必要がある。うっかりすると渦中に巻き込まれ、友人と意見を異にする側から、意に反して、総スカンを喰わされ、あげくの果ては、専門分野のことまで故意に一緒にしようとしなくなると云う破目にまで陥ち入り易い。

つねに左右どちらか政治意見をはっきり表面することを迫られる。彼等は常にはっきりしている。しかし、どちらの側にも専門分野の問題に真面目に一緒に取り組みたいのが多いことも忘れられず、どちらも敵には廻させない。彼等チリ人の間では政治的意見が異なると云うだけで一緒に仕事をしたがらない。とにかくデ

リケートです。



II 同国に対する我國の技術協力実績

(昭和48年3月31日現在)

形 態	農 水 産	建 設	工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	程 費	
										(千円)	(千米ドル)
研修員受入	21	17	12	18	8	10	6	8	100	70,037	197
専門家派遣	7	13	1	5	5				31	23,865	75
開 発 調 査	名 称	調 査 内 容					期 間	団員数			
	木材利用工業開 発計画調査 (ペルー)	森林資源の開発につき、 主に木材利用工業開発の 可能性の調査。					38.10 } 38.12	5	6,711	19	
	マイクロ回線構 築設計調査	チリの電気通信網整備 10カ年計画の一環とし てコンセプションヘサン チャゴアリア間約 2,500kmにわたるマイ クロウェーブ通信網設立 計画について、既局予定 地の調査及び通信トラフ ィック調査。					39.12 } 40.3	5	7,459	21	
	都市交通計画調 査	首都サンチャゴ市及びコ ンセプション市バルバラ イン市に関する交通整備 計画に関する調査。					42.3 } 42.4	8	9,161	26	
	海外中小規模工 業経済協力調査 (コロンビア)	当該国における中小規模 工業開発の可能性の調査					43.11	6	6,650	3	
機 材 供 与	機 材 名	供 与 先 機 関					年 度	数 量			
	ガストロスコブ	チリー大学					44		1,287	3	
	がん研究用機材	サンチャゴサンホセ病院					46		1,216	3	
	漁業回転水槽装 置	国立大学					46		3,764	11	

## Ⅲ 大使館等連絡先

### 大 使 館

住 所	Embajada del Japon, Huérfanos 751, 8º Piso, Santiago, Chile.
電 話	31163
電 略	TAISHI SANTIAGODECHILE.